



1
12
日

無病息災を願って どんど焼き

1月恒例行事のどんど焼きが各地区で行われました。

平野台区では、時折風が吹き付ける中、青竹で囲った井桁の中に、家々から持ち寄ったしめ縄やお正月飾りなどを入れ、代表者が点火しました。

見る見る炎は燃え上がり、竹の爆ぜる音が響き渡る中、参加者たちには、かっぽ酒やぜんざい、焼き芋などがふるまわれ、赤々と燃える火を眺めながら心身を温め、1年の無病息災などを祈念しました。



1
12
日

災害のない1年でありますように 令和2年消防出初式

新春恒例の消防出初式が那珂川市の梶原運動広場で大野城市、春日市、那珂川市の消防団と春日・大野城・那珂川消防本部の合同で行われました。

航空自衛隊音楽隊の力強い演奏に合わせて、総勢約400人の消防署員・消防団員が入場行進した後、消防団による小隊訓練や操法訓練など日頃の訓練の成果を披露しました。また、大野城市消防団の団員35人に対し、長年の活動や日頃の功績を称え、県消防協会などから表彰を受けました。



1
18
土

市民環境ワークショップ

環境基本計画（2021年～2030年）策定のための市民環境ワークショップをまどかぴあで開きました。

このワークショップは、来年度で市の環境施策の指針となる環境基本計画が期間満了のため、新たな計画を策定するために開いたものです。

多くの中学生も参加し、フードロス（本来は食べることができた食品が廃棄されること）をテーマにした映画「0円キッチン」の上映やグループワークを行いました。参加者からは、「家の冷蔵庫の中を見直したい」「作った人の気持ちを考えて感謝したい」などの感想が寄せられました。



大文字

私にはもうすぐ91歳になる祖母がいます。その祖母は、10年以上前、脳動脈瘤や脳卒中を患い倒れましたが、今では完治し、ちよつと離れたスーパリーや美容室に自分の足で歩いて行くほど元気に生活しています。

そんな祖母ですが、つい先日袋状の突起物が卵巣のそばに生じる「傍卵巣嚢腫」が身体に見つかり、排泄に支障をきたしていたため、摘出手術を受けました。高齢のため、体力や回復などさまざまな面で心配され、手術をしない選択も考えられましたが、嚢腫が破裂する恐れがあったため、死を覚悟して手術を受けることを選びました。

手術が無事に終わり、摘出した嚢腫の写真を見せてもらうと、赤い半透明の片手いっぱい埋め尽くす大きさの玉状のもので、それが高齢の祖母の身体の中に入っていたのだと思うととても辛かっただろうと感じました。

現在、祖母は順調に回復しており、数日後の退院が待ち遠しいようです。これからも強い生命力で長生きしてほしい、と心から願った今日この頃です。